



CMSC仙台 高橋しげる

東北クラブマンズカップN1耐久レース優勝記

晩秋の紅葉が最高の見頃となった11月9日、仙台ハイランドレースウェイで、東北クラブマンズカップ耐久300kmレースが行われました。この耐久レースはミラージュの他、シビック、スターレット、マーチ、カローラ/スプリンター等による混合レースであり、また、予選と決勝を1日でこなすスケジュールとなっています。

当日は絶好のレース日和。予選は朝10時10分から30分間行われ、序盤からトップタイムを叩きだし、無事ポールポジションを獲得しました。

決勝は12時35分にコースイン。1周のフォーメーションラップ後、75周回、300kmに及ぶレースが始まりました。序盤はトップ3台による抜きつ抜かれつの展開。途中、規定によりピットインを4回行う必要があり、20周あたりから立て続けに3回ピットインを行いました。その為、多少順位が変わり、5〜6位のキープとなります。40周目頃、セカンドドライバーに交替。ピットイン規定もクリアしその後コンスタントに順位を上げていきます。ピットイン回数をクリアしていない為、タイム差が開いていく他車を尻目に、ラストに近づくにつれどんどんペースを取り戻し、トップでチェッカーフラッグを受けることができました。'97年レースの最後

ポール・トゥ・ウィンで最高の締めくくり。



好調の波に乗る高橋選手とその走り。

を優勝で締めくくることができ、喜びもひとしおでした。今回は他社勢を押さえての優勝で、ミラージュの確かな走りを実証してくれたレースでもありました。

また、今季はミラージュ東北シリーズ・フォーラスカップでシリーズ2位になることができました。全5戦中3戦を制

することができましたが、残り2戦がいずれも3位でチャンピオンには今一步及びませんでした。しかし良いシーズンでした。応援してくださいました皆様、本当にありがとうございました。



ミラージュ カープラザカップ・シリーズ

CMSC栃木・添田正選手シリーズ2位!

三菱ワンメークレースシリーズの今シーズンは、「ミラージュカップ」全シリーズでの延べ参加台数が、前年の539台を大きく上回る576台と、大盛況のうちに幕を閉じました。シーズンも半ばを過ぎてからは、各シリーズで伝統の大激戦が展開されました。さらに、今シーズンからの「予選・決勝通じて使用できるタイヤは4本」というタイヤレギュレーションもあって、4シリーズとも最終戦まで息の抜けない接戦となりました。

ミラージュ・カープラザカップ・シリーズでは初参戦の若手とミラージュカップ一筋といっても過言ではないベテランとの大激戦となりました。また、富士スピードウェイをCA4A型ミラージュで戦えるのは、今シーズンが最後になることから、ラスト2戦にはミラージュカップ・関西シリーズやミラージュ東北シリーズ・フォーラスカップからの遠征もみられるなど、CA4A型ミラージュのラストシーズンにふさわしい熱い戦いを関東のレースファンに見せてくれました。

その中、CMSC栃木の添田正選手が見事、今季シリーズ2位となりました。添田選手はミラージュカップ一筋のベテラン選手。今季は第1、3戦の筑波ラウンドを制し、前半のアドバンテージを生かした2位入賞でした。来シーズンの活躍も楽しみです。



シリーズ2位と健闘した添田選手と第3戦の走り。

CMSC帯広 11月2日

秋の大練習会

8月の夏の練習会に続き、今回、恒例となった秋の大練習会を開催しました。北海道はもうシーズンオフですが、当日は天候にも恵まれ、今シーズンの走り納めに集まった25台は熱い走りを見せてくれました。

参加車は引退間近の1.8ℓランサーからEVOⅣ、さらには全日本ラリーチャンピオンカーのミラージュも参加し、いつもの通り走り比べをして、モータースポーツ談議に花を咲かせました。

最近ではチーム員のアクティビティが下がり気味で、練習会を開けばある程度人は集まりますが、公式戦への参加は寂しい状況が続いています。来シーズンはいかにしてチーム員の活動を盛り上げるかが課題です。

(CMSC帯広 中村洋次)

恒例、練習会で走り納め。





L Iクラス 群馬 鈴木真澄選手 6位



AIVクラス 札幌 宝田芳浩選手 6位(全日本8位)



AIVクラス 香川 森 新次選手 28位(G地区5位)



L IIクラス 浜松 西川美佳選手 6位



AIVクラス 岐阜 榎田正文選手 7位(全日本7位)



CIIIクラス 大阪 大竹公二選手 11位(E地区1位)



A IIクラス 浜松 相原保雄選手 7位(全日本6位)



AIVクラス 大阪 吉村 修選手 13位(E地区1位)



CIIIクラス 山形 八島功敏選手 15位(B地区2位)



A IIIクラス 札幌 谷口浩二選手 3位(全日本5位)



AIVクラス 福島 須田行雄選手 17位(B地区2位)



Dクラス 広島 河内 渉選手 6位(全日本4位)



A IIIクラス 香川 三木利夫選手 22位(G地区5位)



AIVクラス 広島 岩根つるむる選手 20位(F地区1位)



Dクラス 広島 平原和幸選手 15位(F地区5位)



AIVクラス 群馬 荒井信介選手 5位(全日本4位)



AIVクラス 香川 細川英昭選手 26位(G地区4位)



Dクラス 浜松 蓮池量之選手 17位(D地区2位)

ゴール目前。大差リードの福島V濃厚! 2位は?

'97チャレンジカップ

福島の快調なペースは衰えを知らず、2000の大台に乗せてきました。もう残り1月分しかありません。申告漏れの

ないようにして下さい。個人部門では、レースに動きが見られます。最終結果は次号までお待ち下さい。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	820	710	581		2111
広島	612	386	400		1398
群馬	441	466	329		1236
山形	450	445	301		1196
青森	577	412	194		1183
香川	319	394	394		1107
大阪	512.5	220	332		1064.5
帯広	378	306	248		932
浜松	307	289	321		917
札幌	381	232	248		861
道北	421	155	280.5		856.5
岐阜	182	326.5	309		817.5
栃木	204	255	107		566
島根	79	195	58		332
仙台	64	90	127		281
千葉	0	0	241		241
愛知	34	136	70		240
鹿児島	0	168	44		212
埼玉	98	46	51		195
岩手	30	0	115		145
秋田	0	8	50		58

●ラリードライバー部門

小林康弘	帯広	187
丹羽浩道	千葉	174
松井孝夫	愛知	168
奴田原文雄	札幌	165
中島 律	広島	160
原口 真	鹿児島	125
細村謙一	群馬	117
鷹野健太郎	道北	117
菅野正之	浜松	113
富谷利幸	香川	111

●ラリーナビゲーター部門

中村洋次	帯広	167
野村佐江子	広島	160
川村知恵	道北	152.5
本島正和	浜松	89
朝岡達也	愛知	72
細村祐子	群馬	71
生井重男	帯広	66.5
福本光志	帯広	43
内藤修一	道北	42
野津康弘	福島	42

●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	598
湯本 敬	山形	438
小出久美子	大阪	423
谷口浩二	札幌	366
小川 進	福島	357
河内 渉	広島	337
須田行雄	福島	326
大泉 剛	福島	316
岩根つるむる	広島	308
荒井信介	群馬	282

●ジムカーナ部門

宇野慶一	青森	342
工藤裕史	青森	270
江上逸人	栃木	200
佐藤義隆	福島	192
久保田明	青森	168
三崎朋弘	帯広	153
丹羽裕一	道北	140
小 館 久	青森	134
高野 聡	福島	129
古藤浩美	島根	83

●レース部門

高橋しげる	仙台	232
添田 正	栃木	162
小川日出生	山形	90
内堀篤史	栃木	77
川口法行	栃木	44

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む
B = それ以外の競技会